

医療的ケア児・者家族等のつながりづくり推進フォーラム

笑顔がずっと続く地域へ。

～ 本人と家族、そして支援者をやさしく包む「途切れない支援」のつくり方～



本人・家族・支援者の三者が手を取り合い、がんばりすぎずにずっと続けられる
「これからの家族支援」のかたちを考えます。

誰も孤立させない、途切れないやさしいサービスづくりのために、
行政職員や支援者のみなさんと共に一歩を踏み出してみませんか。

令和8年

8月31日 月

13:15-16:30 (受付: 13:00～)



参加費
無料

申込フォーム



会場

札の辻クロスホール

< 静岡市葵区呉服町1丁目30 札の辻クロス6階 >

オンライン併用 < ハイブリッド方式 >

定員

会場80名 + オンライン配信／録画視聴可

対象

県内市町自治体職員（福祉・保健・子育て担当）、
社会福祉協議会職員、医療・福祉関係者、保護者等

申込締切 令和8年8月24日（月）

< 主 催 > 社会福祉法人静岡県社会福祉協議会 < 共 催 > 静岡県
< 協 力 (予定) > 般社団法人みらいTALK、SHINE（静岡障害児等防災ネットワーク）、静岡DWAT事務局、静岡県重症心身障害（者）を守る会、バクバクの会、なないろの会、静岡市肢体不自由児保護者家族の会ハナソ、静岡市静岡手をつなぐ育成会、静岡県肢体不自由児協会、静岡県社会福祉法人経営者協議会、静岡県民生委員児童委員協議会、静岡県社会福祉士会、公益財団法人静岡県看護協会静岡県訪問看護ステーション協議会、静岡県障害福祉人材サポートセンター、しずおか保育士・保育所センター、日本福祉大学静岡県地域同窓会（順不同）

なぜ今、このフォーラムなのか

医療的ケア児者とそのご家族は、日々の暮らしの中で多くの不安や孤立を感じています。
また、ご家族を支える支援者や事業所も、人材育成や支援の継続といった課題を抱えています。
本人も、家族も、支援者も。
誰もが無理なく笑顔で暮らし続けられる地域のために。
このフォーラムでは、実践事例や当事者の声を通して、途切れない支援のあり方をともに考えます。

プログラム

基調講演

「家族も支援者もホッとできるサービスを目指して」
～社会福祉法人が挑む、持続可能な「ごちゃまぜ」のカタチ～



戸枝 陽基 氏

社会福祉法人むそう理事長
NPO法人ふわり理事長

ご家族のはなし

「子育てと、家族らしさ」



鈴木 彩菜 氏

学校教諭

支援者のはなし

- ・「児童発達支援センター・放課後等デイでの受け入れ」
- ・「保育園での受け入れ」
- ・「学童での受け入れ」



津本 泰江 氏

社会福祉法人インクルふじでらび～
児童発達支援管理責任者



県内事業所



栗原 尚恒 氏

社会福祉法人 調布市社会福祉事業団
総合施設長

実践報告

「みんなで支える、まちぐるみの子育て」
～君津市の医療的ケア児支援の取り組み～



三澤 純子 氏

君津市福祉部障がい福祉課
障がい者支援係 総括保健師

パネルディスカッション

「支援する側もされる側も、ホッとできる地域へ」



コーディネーター
山本 雅章 氏

登壇者
戸枝氏・支援者・御家族 ほか

登壇者・実践報告紹介



と え だ は る き

戸枝 陽基 氏

社会福祉法人むそう理事長
NPO法人ふわり理事長



や ま も と ま さ あ き

山本 雅章 氏

昭和女子大学 専門職大学院
福祉社会・経営研究科 教授



み さ わ じ ゅ ん こ

三澤 純子 氏

君津市福祉部障がい福祉課
障がい者支援係 総括保健師

愛知県などを拠点に、年齢や障害の有無に関わらず誰もが地域で共に生きる「ごちゃまぜ」の福祉を推進。重度心身障害児者や医療的ケア児の地域生活支援、就労支援など、既存の枠にとらわれない先駆的なサービスを全国に展開し、地域共生社会の実現に向けて牽引している。

調布市で長年行政マンとして活躍後、地域福祉の実践と政策研究の両面から、障害児・医療的ケア児支援や包括的支援体制のあり方を探求。自治体職員・支援者への研修や制度設計のアドバイザーも多数務める。本フォーラムでは御家族との対談の聞き手、およびパネルディスカッションのコーディネーターを務める。

人口約8万人の君津市では、医療的ケア児等コーディネーターの配置や関係機関による協議の場づくりを通じて、保健・医療・福祉・教育が連携した切れ目のない支援体制づくりを進めている。小規模な自治体だからこそ実現できる「顔の見える連携」と、家族に寄り添う相談支援の実際を、現場の取り組みを交えて報告する。

問い合わせ先

社会福祉法人 静岡県社会福祉協議会 医療的ケア児つながりづくりWG

【企画・内容に関する問い合わせ】担当：望月

【参加申し込みに関する問い合わせ】担当：金子

054-254-5237

kenriyogo@shizuoka-wel.jp

